

中里北部地区社協だより



第56号 平成30年2月27日

発行責任者 竹内 英臣

社会福祉協議会会長年頭挨拶



明けましておめでとうございます。

昨年中は、中里北部地区社会福祉協議会の各事業に、ご協力または参加いただき誠にありがとうございます。

本年も、地域福祉保健計画に基づいて、連合町内会・地域ケアプラザ等各種団体と連携・協力のもとに、安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指して取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり皆様のご多幸、ご健勝を祈念いたします。



中里北部地区社会福祉協議会 会長 竹内 英臣

年末助け合い募金

平成29年の年末助け合い募金には、中里北部地区の皆様の心温まる善意の募金を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

特に、各町内会・自治会役員の皆様には、ご尽力いただきました事を深く感謝申し上げます。

おかげ様で右記のとおり多額の募金を頂戴いたしました事は、皆様の社会福祉に対する深いご理解とご協力の賜物と思います。

ご協力ありがとうございます。

(2月3日現在)

町内会・自治会名	募金額(円)
たちばな台町内会	334,450
たちばな台西自治会	61,000
たちばな台東自治会	13,200
寺家町内会	46,500
鴨志田緑自治会	118,900
鴨志田町内会	227,755
グリーンヒル鴨志田東団地自治会	23,700
グリーンヒル鴨志田西団地自治会	63,200
横浜市営鴨志田住宅自治会	19,600
たちばな台ガーデンハウス自治会	6,000
合 計	914,305



ボランティア募集



中里北部地区社協行事のひとつ「すこやかお食事会」のお弁当づくりをしてみませんか。

「すこやかお食事会」は、年6回、奇数月の第4金曜日に、午前11時から午後2時30分の間、77歳以上の方・70歳以上の一人暮らしの方をお招きして、「トゥギャザー」さん手作りの松花堂弁当をお出ししています。

大変好評で、参加されたみなさん楽しみにしていらっしゃいます。

この松花堂弁当づくり活動に参加して下さるメンバーを募集しています。参加ご希望の方は、トゥギャザー代表・佐藤ハマ子さん(電話962-4343)へ連絡をお願いします。

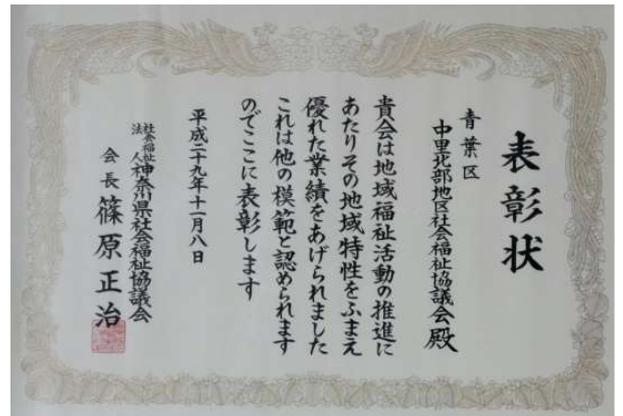
「トゥギャザー」さんが
作る美味しい昼食
「松花堂弁当」



表彰されました・おめでとうございます

社会福祉に貢献し功績のあった人・団体を称える第66回神奈川県社会福祉大会が11月8日、横浜市の県立音楽堂で開かれ、我が中里北部地区社会福祉協議会が優良地区社会福祉協議会として神奈川県社会福祉協議会会長表彰を受けました。

また、第23回青葉区社会福祉大会が、11月17日に青葉公会堂で行われ、中里北部地区社会福祉協議会理事・事務局長・板垣隆士さんが社会福祉功労者として青葉区社会福祉協議会会長・青葉区長表彰を受けました。



青葉区社会福祉大会で発表

青葉区社会福祉大会が11月17日に青葉公会堂で行われ、青葉区地域福祉保健計画(青葉かがやく生き生きプラン)の発表が行われ、中里北部地区が取り組みを発表しました。

飯島連合町内会会長、竹内社会福祉協議会会長、戸塚鴨志田町内会会長、松浦鴨志田ケアプラザ所長が、中里北部地区を①高齢者が活躍できる生きがいのある地域にするための取り組み。②若い世代を呼び込み、地域に根づく環境づくりの取り組み。③認知症を理解し、それぞれの立場で高齢者を見守る取り組み。④子どもが自分のまちをもっと愛せるまちにしよう、という4つの目標計画の取り組み現状を説明し、会場みなさんに中里北部地域での活動状況をアピールしました。

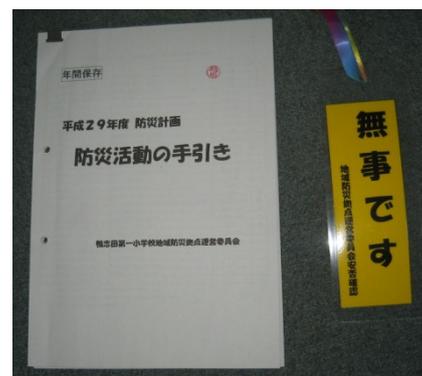


鴨志田第一小学校地域防災拠点運営委員会の防災活動

運営委員長 稲場 稔

大災害時の初期対応は安否確認が重要な項目になります。拠点内各位の安否確認ができ、無事ならば後は共助、公助に引き継いで早期の復旧・復興の対処ができます。

本拠点では安否確認方法の一環として『無事です 札』を拠点内の町内会員・自治会員全戸に1, 210部配備しました。更にPTAと協働で本校の児童を通じて5年間で10学年、600部程度配布しましたので、非自治会員世帯へ若干の配備になっています。この事業は今後も継続します。



総合防災訓練では、支え合いカード対象者の安否確認を実施しました。その方法は5名の民生委員と町内会・自治会の委員をセットにして安否確認をしました。

対象者には予め『無事です 札』を玄関先に提示してもらい安否確認をする事です。札を掲げていない対象者には訪問して無事を確認しました。

由って、迅速に安否確認ができることを実証しました。次年度以降は『無事です 札』を各町内会・自治会で年間数度の提示訓練を経て、総合防災訓練を実施します。

又、ペット受け入れ訓練を実施しました。ペットは家族と同様で孫や子供と同じ位に可愛いと申します。過去の災害の際には、自宅が居住困難となった場合に、避難所に行かず、自動車や納屋、ビニールハウスで避難生活をしている人達の姿を目にしました。



被災者のその様な思いを受け止めて本拠点ではペットを受け入れました。ルールは、①ケージに入った犬、猫に限る ②拠点の建屋に入れない ③人とペットの安全と衛生に配慮

する。「ペット飼育に関する同意書」に基づき、各自が自主的・自治的に運営する事です。本年度の防災訓練はレオ動物病院堀川先生に地区住民のペットに関する相談事や本拠点へのアドバイスをお願いしました。

日帰りバスツアー



恒例の日帰りバスツアーが11月28日に参加者69名で行われました。

平成の大改修でお色直し、世界遺産日光東照宮を案内人説明付きで見学し、日光甚五郎煎餅工場(石田屋)見学、試食・買い物をして、ほぼ予定通り帰着しました。



1号車



2号車

「たちばな会」で認知症サポーター養成講座を開催



よく認知症という言葉を目にする機会が多いかと思えます。

2025年には横浜市でも65歳以上の①高年齢者が97万人(2015年は87万人)程、②認知症高齢者数も20万人(2015年は14万人)程と予想されています。

(※下線部の数字は、①横浜市ホームページ 横浜市の将来人口推計値 年齢3区分の人口より、②平成29年10月「よこはま地域包括ケア計画」より引用)



ケアプラザでは、認知症への理解を深めるきっかけとして「認知症サポーター養成講座」の講座(出張講座も有り)をおこなっています。

平成29年12月には、老人会の「たちばな会」で講座を開催致しました。

「認知症」を正しく理解・対応する事で、認知症になっても住み慣れた地域で過ごし続けられる事につながると考えて取り組んでいます。

今後とも宜しくお願い致します。

(地域包括支援センター 星 理)

鴨志田地域ケアプラザフェスタ



今年も12月17日(日)天候にも恵まれ、中里北部地区会長をはじめ、地域の皆様のご協力のもと大盛況でケアプラザフェスタを行うことが出来ました。ステージ発表についてはどの団体も迫力があり、素晴らしい演目を披露してくださいました。模擬店、フリーマーケット、ゲームコーナーも大変な盛り上がりを見せていました。

御礼申し上げます。

今後ともケアプラザでは、地域に溶け込んでいけるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

(横浜市鴨志田地域ケアプラザ

所長 松浦 忠昭)

